

農作物の被害予想と対策（大雨）

令和4年7月4日 安芸農業振興センター

農薬散布の場合は、安全使用基準（特に収穫前日数）と農薬の飛散（ドリフト）に注意する。

農作物名	生育ステージ	被害予想	対策
1、水稻 ● 早期稲	登熟期～収穫期	強風雨による倒伏、浸水、冠水による収量、品質の低下、穂発芽による収量、品質の低下。	1. 倒伏、浸水、冠水した水田では、できるだけ早く溝切り、水路のゴミを除去し、濁水の排水に努める。 2. 台風による暴風は、稲の表面から多量の水分を奪い穂、茎葉を震動させ損傷を与えるので、水田に十分に水を与える。 3. 高潮や海水が流入した水田は、早急に清水を入れ、かけ流しかん水する。
● 普通期稲	幼穂形成期～出穂期	強風・大雨による、白穂、茎葉の損傷、浸水、冠水による不稔、いもち病（穂いもち）、白葉枯病等の発生。	1. 浸水、冠水したほ場は、排水に努めるとともに退水後は浅水管理とする。水温が高いと被害が大きくなるので、新鮮な水を時々浅く入れ、根の回復を図る。 2. 黄化萎縮病、いもち病、白葉枯病の防除は「病虫害防指針」に基づいて適切に防除を行う。 3. 上(早期稲)の2, 3と同じ
2、野菜（露地） ● ショウガ	生育期 （3次茎分けつ期）	風による茎葉の損傷、浸水による根茎腐敗病、青枯れ病の発生。	＜事前対策＞ 1. 台風襲来前に防風対策を行う。 2. 浸水、冠水による被害を予め防ぐため、ほ場周辺の排水を良くしておく。根茎腐敗病、疫病の発生がみられたらただちに防除を行い、被害の拡大を回避する。 3. 台風通過後に想定される病害対策として農薬などを確認しておく。
● オクラ	収穫期	風による倒伏、茎葉の損傷と果実の品質低下並びに輪紋病（さくぐされ病）の発生。	＜事後対策＞ 4. 倒伏したものは早く起こし、茎葉に付着した泥は洗い落とす。 5. 果菜類で被害の大きいスレ果や変形果等は早く摘果し、樹勢の回復を図る。
● シシトウ ● ピーマン ● ナス	収穫期 〃 〃	風による倒伏、茎葉の損傷と果実の品質低下並びに浸水による青枯病、疫病の発生。	6. 潮風害を受けた場合は、なるべく早く水洗いして塩分を流す。
● サトイモ ● 青ネギ ● ニラ	生育期 生育期～収穫期 収穫期	風による茎葉の損傷。	

農作物名	生育ステージ	被害予想	対策
3、野菜（施設） ●ナス ●ピーマン ●シシトウ ●ミョウガ ●メロン ●イチゴ	育苗期 育苗期 播種期 収穫末期、生育初期 収穫期、播種～育苗期 育苗期	1. 育苗ハウスや本ぽハウスのビニール破損、倒壊 2. 苗の葉ずれ、倒伏 3. ハウスへの浸水、冠水によりミョウガでは根茎腐敗病の発生、メロンでは裂果や果実の腐敗 4. 育苗が始まっている品目では、育苗ハウスのビニール破損による葉ズレ、潮風害、冠水による疫病の発生	＜事前対策＞ 1. 台風前に防風対策を行う。 ＜事後対策＞ 2. ハウス内への浸水対策や周辺の排水対策を十分に行う。 3. ビニールが破損し、修復までに長時間を要する場合は、白色の寒冷紗を被覆する。 4. 育苗中の苗床が、浸水、冠水や風ずれなどによって大きな被害を受けた場合（今後、枯死、生育不良等が予想されるもの）は、直ちに播き直しを行う。 5. 浸水があった場合は、ほ場の排水の迅速化を図るとともに、病害の発生防止のために予防散布を行う。根茎腐敗病の発生がみられたら、直ちに防除を行い、発病部分を隔離して被害の拡大を回避する。また、薬剤の安全使用基準に留意する。
4、花き（露地） ●キク ●センリョウ	生育中期～収穫期 生育期	ほ場への浸水と風による葉ズレ、折損、倒伏。	1. 台風襲来前に浸水しないように排水対策を行う。また、浸水時には排水に努める。 2. 風による被害を防ぐため、防風（防風ネット、棚の補強等）対策を行う。 3. 下葉に泥が付着した場合には、きれいな水で洗い流し、天候の回復を待って農薬散布を行い、病害の発生を予防する。 4. 倒伏したものは、ゆっくり起こし、倒れないように管理する。 5. 潮風害を受けた時は、なるべく早くきれいな水で塩分を洗い流す。

農作物名	生育ステージ	被害予想	対策
5、花き（施設） ●ユリ ●ソリダスター ●グロリオサ ●洋ラン ●ブルースター ●トルコギキョウ ●ダリア	収穫期～定植 生育中 〃 〃 〃 育苗中 〃	ハウスのビニール破損、倒壊、葉ズレ、折損、 倒伏ならびにハウスへの浸水、冠水。 ほ場に雨水が入った場合の疫病の発生。 停電によるムレ。	1．台風襲来前に防風対策を行う。 2．茎葉に泥などが付着した場合には、きれいな水で泥を洗い流し、天候の回復を待つて農薬散布を行い、病害の発生を予防する。 3．ほ場に雨水が入った場合には、疫病の対策を行う。 4．クーラー育苗ハウスの補強等
6、常緑（施設） ●温州ミカン	収穫期～収穫前	1、ハウスのビニール並びに本体の破損 2、ビニール除去ハウスでの果実への褐色腐敗病の多発	1．収穫中のハウスは、ハウスの補強（別添ハウス施設の台風対策参照）、防風垣の整備を行う。 2．事前の排水対策 3．強風によりハウス本体への影響が懸念される場合は、ハウス本体の被害を最小限にするため、ビニールの除去を行う。 4．収穫中のビニール除去ハウスでは、事前、事後の褐色腐敗病対策を行う。
●その他のカンキツ類	果実肥大期	1、ハウスのビニール並びに本体の破損 2、ビニール除去ハウスでの落果（ブント類） 3、かいよう病の発生	1～3は同上 4．かいよう病対策として、事前、事後に銅剤や抗生物質剤などで防除を行う。
7、常緑（露地） ●温州ミカン	果実肥大期	1、果実、枝葉の損傷等	1．防風垣の補強、幼木は支柱を立て固定、排水対策を行う。 2．通過後は樹体倒伏があれば、露出した根が乾燥しないうちに起こして株元へ土寄せをする（かえって根を傷めないよう注意）。 3．枝折れしたものは、なるべく早く切り返し切口にトップジンMペーストなどを塗布する。 4．潮風害を受けた場合は、速やかに水洗いして塩分を流す。

農作物名	生育ステージ	被害予想	対策
●その他の カンキツ類	果実肥大期	1、果実の落果 2、果実、茎葉の損傷等 3、かいよう病の発生	1～4は同上 5. かいよう病対策として、事前、事後に銅剤 や抗生物質剤などで防除を行う。
8、落葉果樹 ●ナシ ●カキ ●ブドウ ●クリ	果実肥大期 果実肥大期 着色期 果実肥大期	1、果実の落果 2、枝折れ、枝葉の損傷等 3、棚の倒伏	1. 防風垣の補強、更にナシ、ブドウなどは棚 の補強、排水対策を行う。 2. 台風通過後は上記（温州ミカン2～4）に 準じる。 3. 病害の発生防止のため、薬剤を早めに散布 する。